

アジアンフォトグラフィー第3弾

「6人の若い作家たち・ソウル発写真通信 —ソウルバル・サジントンシン」

出品作家 文亨珉 鄭然斗 千京宇 申恩京 方炳相 李康雨 (敬称略)

Guardian
Garden
PRODUCED BY RECRUIT

서울발 사진통신

2003年6月2日(月)→6月19日(木)

0:00→7:00P.M. 入場無料 日曜休館

レセプション

日時/6月13日(金) 8:00→9:30P.M.

トークショー

本展出品作家のスライドショーを含め、韓国の写真界の動向を金升坤氏と
飯沢耕太郎氏にお話しいただきます。

日時/6月13日(金) 6:30→8:00P.M.

出演/金升坤 飯沢耕太郎 出品作家

会場/ガーディアン・ガーデン(入場無料)

*お電話にてご予約ください。

TEL.03-5568-8818

主催/ガーディアン・ガーデン 韓国写真交流会

企画協力/金升坤(韓国写真評論家)

後援/駐日韓国大使館 韓国文化院



【東京写真月報2003】協賛誌

この展覧会は、欧米の写真家に比べ目にする機会が少ない近隣アジア諸国の若手写真家を紹介する、アジアンフォトグラフィーシリーズ第3弾です。今回は、1回目同様、韓国の写真評論家金升坤氏にご協力いただき、韓国のみならず世界を舞台に活躍する30代の気鋭の写真家6人をご紹介します。

昨年の日韓共催ワールドカップをきっかけに、日本でも韓国の文化・芸術に触れる機会が増えてきましたが、その結果、両国の似て非なる表現の違いも実感されるようになりました。韓国の写真表現の現状と若手写真家たちの作品作りへの想いなどに触れていただくこの展覧会が、お互いに刺激し合える場となればと思っています。

グローバルゼーションはもう古いことばとなりました。それはスローガンではなく、既に現実となっているからです。外国文化に馴染んできた韓国の若い芸術家たちは、西洋に注がれている視線をアジアの内側に向けるべき時点に差し掛っており、西欧の文化的伝統と覇権主義を克服するためには、多くの歴史・文化的同質性を共有する韓・日の文化交流が切実に必要であることを認識しています。

韓国の写真家たちの中には、長い間、彼らの意識を抑圧してきた民族的アイデンティティーに対する強迫観念や、過去の価値に対する郷愁を何ら感じない世代が増えています。彼らは、現実でどのようなことが起きているのかを見せるためだけでなく、自分たちが直面している世界に対する意見を開陳するための素材として写真を用いています。彼らは、写真ではなく、絵画や彫刻といった、美術分野の専攻者が多いのも一つの特徴です。このような現象は、写真と美術を分けていたジャンルの区別が、すでに有効性を失いつつあるということを意味します。彼らは美術史に対する意見や、あるいは社会学的分析と批評の手段として写真を利用しているのです。

韓国の写真は今、自由と多様性、そして、知的な実験精神と未曾有の活気に満ち溢れています。1996年に続き、韓国の若い写真家たちを紹介する今回のガーディアン・ガーデンでの展示では、その中でも、国内外で最も活発な活動を見せている6人の30代の作家たちの作品を通じて、その多様性と活気的一端をお見せできればと思います。

金升坤 Kim, Seung-Kon

1940年韓国全州生まれ。高麗大学文科大國文科卒、日本大学芸術学部写真学科卒、筑波大学大学院芸術研究科修了。現在、国立順天大学教授、韓国写真交流会会長。1983年以来、写真展、学術シンポジウム、「写真批評」誌の発行など、国内外で写真を中心とした活動を数多く行っている。



文學珉 문형민 (ムン・ヒョンミン)

「9 Objects」

これは周囲の人に最も大事だと思う9つの物と好きな背景色を選んでもらい、大型カメラで撮影したものです。主題や背景色、視覚的要素など、作家による主観的選択を最小化し、個人と物たちとの関係性をフレームの中に閉じ込めようとした。客観的な立場から機械的に記録することで、作家の役割と権限から脱皮し、新たなイメージを提示しようとする試みです。1970年ソウル生まれ。カリフォルニア州立大学卒業。



鄭然斗 정연두 (ジョン・ヒョンドゥ)

「東京・ブランド・シティ 2002」

東京の高級ブランド店の店員たちをモデルに、彼らと、お客さんとの間の緊張感のようなものを表現しようとした。店員たちには普段働いている位置に立っていてもらい、通りすがりの客がショーウィンドウの中を見るように、ガラス越しの中を覗き見するという視点で撮影を試みた作品。1969年慶南晋州生まれ。1997年ロンドン大学ゴールドミス・カレッジ修士課程修了。



千京宇 천경우 (チョン・ギョンウ)

「this appearance」

この作品では長時間露出の実験を続けている。タイトルの「this appearance (出現)」を間違っ

て発音すると「disappearance (消える)」という意味になってしまう。それは、この写真を眺め、発見するものと同じことかもしれない。闇の中に浮かびあがる一つの顔ではなく、観念としての顔が立ち現れてくる。1969年ソウル生まれ。ドイツ・フバタル大学コミュニケーション・デザイン科写真専攻卒業。



申恩京 신은경 (シン・ウンギョン)

「カミミ海水浴場」

科学の進歩と発展は人間に物質的な豊饒さと便利さをもたらす反面、自然と人間自身に戻ってくる破壊がコインの裏面のように存在する。人々は夏の日を楽しんでいるが、その後ろに潜む得体のしれない怖さを感じる。私自身が感じている現実に対する不安。その感情を通じて解釈された世界が写真の中に広がっている。1973年全北益山生まれ。中央大学校大学院写真学科卒業。



方炳相 방병상 (バン・ヒョンサン)

「In the Green Heaven」

大都市はどれも人工的な造形物で溢れ、そこで暮らす人間は反復される退屈な日常から逃れることを夢見ている。それらは豊かさや便利さを与え、自然の代理物としての役割を果たしている。その中で、過去と未来、伝統と現代、自然と人工の日常を経験する人々を観察し記録しようとしたものだ。1970年江原道春川生まれ。弘益大学校産業美術大学院写真デザイン専攻修了。



李康雨 이강우 (イ・ガンウ)

「文化、身体風景—colorful! Young Persons」

写真に出会ってからの10年間、歴史と自我、都市の日常と記憶、大衆文化と美術の文脈に関する問題などを主題とし、それらを一つの空間に括って、動画、テキスト、オブジェなどとともに複合的に展開してきた。今は「イメージ」に注目している。「イメージ」は、その拠りどころである文化と、根幹となる言語を探索することと深く関わっている。1965年唐津生まれ。ソウル大学大学院西洋画専攻修了。

展覧会パンフレット

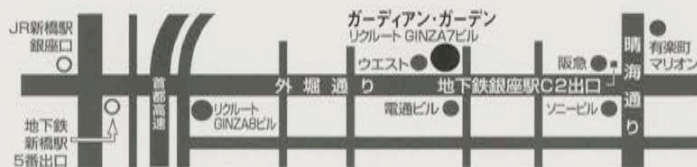
1冊1000円(税込)

(A4判・48ページ・図版点数約70点)

日本語・韓国語・英語訳付・6/2発売予定)

会場での販売とあわせ、通信販売も行っております。

(送料別)



リクルートGINZA7ビルの地下1階です。洋菓子ウエスの横の階段を降りて下さい。

ガーディアン・ガーデン

〒104-0061

東京都中央区銀座7-3-5リクルート GINZA7ビルB1

TEL:03-5568-8818 FAX:03-5568-0512

http://www.recruit.co.jp/GG/

Guardian Garden
PRODUCED BY RECRUIT